



# 森ボラ 通信

第119号 2012年4月20日発行  
NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## トピックス

### ◆ 3月森ボラセミナー 『道有林について』

講師：道水産林務部森林環境局道有林課 関根 進氏

1月のセミナーでは国有林についてお話を聞いたので、今回は道有林について聞く機会が設けられました。北海道の森林面積は約550万ha、内訳は国有林が57%、一般民有林が26%、市町村有林が5%、道有林が11%、約61万haを管理している。道有林約61万haの内、75%が天然林であり、人工林は22%、残りは羊蹄山や旭岳の頂上付近等の森林が形成できていない未立木地であり、これも一応森林面積として管理されているとのこと。

道有林は前述の様に国有林の約1/5であるが、各々の森林は特徴のある森林が多く、道南地方のブナ天然林やスギ人工林、胆振地方のコナラの保護林、日高地方の幌満のキタゴヨウ保護林などで、ブナやコナラはこれらの生育の北限ともなっている。それらの中で空知管理区のトドマツ（人工植栽林）とウダイカンバ（天然更新木）の写真を見て、参加者からは今後の育成の進め方について数多くの意見が出された。今後どのような施行をして、どのような森林に育っていくのか是非見たいものである。

2002年に道有林の目的変更が行われ、それまでの木材販売等による収益性確保を主な目的としてきたところから森林の整備及び保全による公益的機能の発揮を主目的とする方向に変更されたとのことで、計画のポイントとしては

- ・ 地域の特性に応じた多様な森林づくりの推進
- ・ 健全な森林の育成による公益的機能の確実な発揮
- ・ 道有林の利活用促進と地域への貢献

が掲げられている。まさに我々のようなNPOが活躍できる場があると思われるのであるが、残念ながら実態は看板通りには進んでいないようである。NPOが活動できるようなシステムをスピード感を持ってつくって頂きたいものである。道有林は道民の大切な財産であり、貴重な資源でもあるので出来るだけ道民の手で守っていくのが最良の進め方と思われる。

関根氏には、お忙しい所貴重なお話を頂き本当に有難うございました。（文・荻田）



### ◆ 3月森ボラセミナー

#### 森と川のつながり 『カワシンジュガイ類の話』

元北海道立水産孵化場長 栗倉 輝彦氏

河川の清流部にカワシンジュガイ、コガタカワシンジュガイという二枚貝が生息している。前者は2005年環境省のレッドデータブックで「絶滅危惧種Ⅱ類(VU)」に指定され、後者は2007年に「絶

滅危惧種 I 類(CR+EN)」に指定された。このため、これからの河川管理にはこれらカワシンジュガイ類の保全を考えた施策が必要となっている。

**1. カワシンジュガイとの出会い** 1963年当時勤務していた道立水産孵化場の千歳支場で千歳川の河川水を使用して飼育していたヒメマスに鰓病が発生し、診断した結果、カワシンジュガイのグロキジウム寄生によるものと判明した。

**2. 分類学的な経緯、宿主特異性及び分布** 1964年当時、ヨーロッパに棲息するホンカワシンジュガイのグロキジウムの宿主はコイ科の *phoxinus* 属とされていたが、Young & Williams によって宿主がサケ科魚類のタイヘ

イヨウサケ、ブラウントラウトであることが明らかにされた。カワシンジュガイの仲間とサケ科魚類はリス氷期から長い間、宿主寄生体関係を続け、それぞれが現在の種に進化したと考えられる。

**3. 生態学的な特徴など** 宿主になるサケ科魚類が生息していないと、世代交代が出来ないことがもっとも重要な生態学的特徴である。また、非常に長寿で北海道の河川からも160才を超える個体が報告されている。

**4. 人間とのかかわり** 人間と真珠の歴史では5,000年～6,000年前の遺跡から発掘されている。日本でも縄文時代の遺跡からカワシンジュガイから採取されたと思われる真珠が発掘されている。ローマ時代のジュリアス・シーザーが紀元前55年にブリテンに侵攻した目的の一つが、スコットランドで多産したホンカワシンジュガイの真珠を所有することであったと歴史家が書いている。

**5. 絶滅危惧種としての保全** カワシンジュガイ類が棲息している河川についての世代交代に関するモニタリング調査を行うとともに、その保全に関する手法の調査研究が必要である。

以上が要旨ですが、『カワシンジュガイ類熱中人』栗倉さんの年齢を感じさせないソビタリティーあふれる講演に会場の皆が感動し、逆に元気をもらいました。栗倉さんにはこれからもお元気にカワシンジュガイ類の調査・研究、合唱、日ハム応援とますます活躍されますことを祈念しています。ありがとうございました。(文・樫棒)



## ■ 現場より

### ◆ 澄川環境林の冬の整理伐終わる

(活動報告＝ローソン緑推助成活動＝)

樹木園を中心にこの冬行ってきた整理伐は事故もなく終了しました。整理伐、枝条集積、ホダ木や木道看板用材、薪炭材の藪だし、桧積が終わりこれからは植菌、マキ割りとなります。

今年の冬季作業の特記事項は4台のバチ橇による集材で約5立米の材を1km離れた作業場まで運材したことです。

言葉にすれば化石燃料(機械によるガソリン)を少ししか使わないので「薪炭＝再生可能なエネルギー生産」や「楢木＝二酸化炭素の長期固定保存」活動とかになるわけですが実践は大変な労力でした。

皆さん、せめて一仕事終わった達成感を味わいましょう。(文・酒井)



◆主題：「40年で木はこれくらい育ちます」

私たちの支援団体である北海道シジシー(株)の上部組織の株式会社シジシージャパンが創立40周年を迎えられるそうです。東京で式典があるそうで写真のような年輪円盤を製作して贈呈しました。CGC 烏柵舞の森の植樹が始まりますがあと40年で植えた木はこれくらい育ちます、の意も含めています。

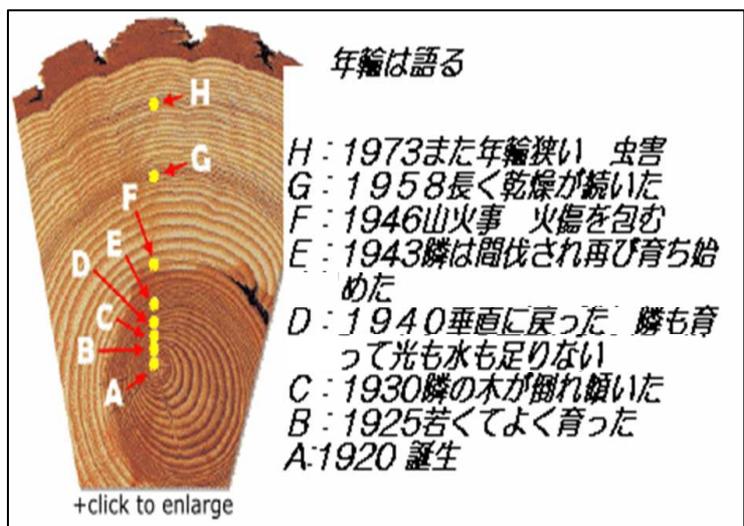


年輪

下図はWeb資料で科学的かどうかわかりませんが私はパワーポイント資料にしています。

特にE：隣は間伐されて再び育ち始めた部分を間伐の説明に使います(矢印位置は間違いのようです)。

光がさんさんと当たって光合成が進んだのでしょ。若いときはよく育ったことやグレていたのが垂直に戻ったり、山火事で黒く焦げたり乾燥や虫害(食糧難)があったり北島三郎の年輪は有名ですがこの説明書きには人生以上の物語があります。(文・酒井)



■ お知らせ

◆ 《 第10期定期総会のご案内 》

- 日時 2012年5月2日(水) 15:15~16:30
- 会場 リンケージプラザ第2研修室(札幌市中央区北1西9)
- 議事次第
- 1 開会宣言
  - 2 理事長挨拶
  - 3 議長選出
  - 4 書記および議事録署名人選出
  - 5 議題
    - 第1号議案(事業報告・決算報告・監査報告)承認の件
    - 第2号議案(事業計画(案)・収支予算(案)承認の件
    - 第3号議案・協会設立10周年記念事業(案)承認の件
    - 第4号議案・役員改選の件
- その他

【総会付帯事項のご連絡】

1. 役員改選に当たり新たに立候補者の推薦及び立候補希望者の方は5月1日(必着)迄に事務局に提出下さい。
  2. 出席不可の会員は議案のご意見を事務局まで書面を以てご連絡下さい。
- ※上記2項目につきご連絡がない場合、議案のご承認をいただいたものとして総会を進めます。(文責・事務局)

以上

## ■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・酒井・佐野・高野・津金・西野(備)・矢澤・和田

審議および決定事項

- 1 24年5月スケジュール →調整
- 2 2011年度理事会及び定期総会 5月2日(水) 15:00~16:30・・・**詳しい案内は3頁に掲載**
- 3 支笏湖植栽関連
  - ・4月24・25日 烏柵舞の森 毎木調査 野帳、ナンバリング、林尺、チョーク他
  - ・5月9・10日 烏柵舞の森 植栽活動(アカエゾマツ:1,600本、ミズナラ・ハルニレ各500本)
  - ・5月12日 道新ぶんぶんの森植樹祭 トドマツ:850本、マーキングは5/10の午後実施
- 4 10周年記念事業進行状況・・・和田
  - ・編集作業の報告・・・「森とともに」
  - ・投稿文の依頼
- 5 委員会報告 広報委員会(HP合対応) 業務委員会(24年度作業計画他)  
助成委員会(ガーデンシティの申請他) 研修・企画委員会(研修旅行他)
- 6 その他
  - ・北広島メイプルからアオダモ(100本、H:60から70cm)引取り日 4/18(水)
  - ・ナメコ、シイタケの植菌作業
  - ・平成24年度 森林ボランティア ステップ・アップ事業参加申し込みの件・・・**下記に詳細**

## ■ お知らせ

### ◆ 《澄川環境林ゴミ収集活動》

5月21日(月) 春恒例の澄川環境林の周りのゴミ収集活動を行います。

### ◆ 《平成24年度森林ボランティア・ステップアップ事業講習・・・道林務部主催》

4回の講習会に参加希望の方は事務局までご連絡ください。

第1回講習会：5月16日(水) 清田区 白幡山森林活用センター

森林の働き、生態系。山菜、野草の見分け方及び調理方法

第2回講習会：6月28日(木) 白旗山森林活用センター

自然観察をする時の見方、ポイント。ネイチャーゲーム。

第3回講習会：7月23日(月) 当別町 白樺コミュニティセンター(バスで移動)

森林施業プラン⇒標準地調査、林分調査⇒標準地の提案書作成。

第4回講習会：9月27日(木) 清田区 白幡山森林活用センター

森林生態系とキノコの役割。キノコ採取と鑑定会。

## ■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
3月17日(土)	きたネット講習会	2	チェンソーの講師
3月21日(水)	澄川	12	樹木園整理・整理伐
3月23日(金)	澄川	11	樹木園整理・整理伐
3月27日(火)	澄川	12	樹木園整理・整理伐
3月30日(金)	澄川	11	樹木園整理・整理伐
4月3日(火)	澄川	10	樹木園整理・整理伐
4月6日(金)	澄川	11	基地周辺整理伐
4月9日(月)	幹事会	9	定例
4月10日(火)	澄川	16	基地周辺整理伐
4月13日(金)	りんご園	8	枝処理
4月17日(水)	澄川	13	樹木園整理・整理伐